

市町村名	粟国村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	環境美化促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)	
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	村内を訪れる観光客の満足度の向上に向けて、観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を実施する。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,952	8,855	9,600	12,375	11,996
		(b) 予算現額	3,421	6,965	6,684	8,475	11,996
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,531	▲ 1,890	▲ 2,916	▲ 3,900	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	3,421	6,965	6,684	8,475	11,996
	B. 執行済額		3,376	6,965	6,684	7,266	10,747
	うち交付金充当額		2,701	5,572	5,347	5,813	8,598
	次年度繰越額		—	—	—	—	—
	執行率 (%) (B/A)		98.7%	100.0%	100.0%	85.7%	89.6%
予算の状況の説明		観光地5ヶ所、アクセス道路13ヶ所の清掃美化作業に必要な作業員の賃金及び備品、消耗品、燃料の購入を行った。不用額1,249千円は、1月から3名の退職者と天候不良により作業が出来なかった賃金の執行残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	・美化・緑化活動の実施 観光地:5箇所 アクセス道路:13路線	目標	観光地:5箇所 (アクセス道路:13路線)	()	()	()	
		実績	観光地:5箇所 アクセス道路:13路線の実施				
	・備品購入(自走式刈払機、チェンソー)	目標	備品購入(自走式刈払機、チェンソー)	()	()	()	
		実績	備品購入(自走式刈払機、チェンソー)完了				
	・満足度調査の実施	目標	(満足度調査の実施)	()	()	()	
		実績	満足度調査の実施				
	達成状況説明	観光地5ヶ所及びアクセス道路13路線において、美化活動を実施した。観光地5ヶ所(大正池、ウーグ、東ヤマトウガー、ヤヒジャ、洞寺公園)については、作業周期を短くすることにより美化の維持管理ができた。モニターツアー参加者へ満足度調査をおこなったところ、「とてもよかった」、「よかった」と答えた割合が94%となった。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度
・観光地・アクセス道路の観光客受け入れ環境の充実		目標	()	観光地・アクセス道路の観光客受け入れ環境の充実	()	()	()
		実績		観光地・アクセス道路の観光客受け入れ環境の充実			
・観光客の満足度:70%以上		目標	()	観光客の満足度 70%	()	()	()
		実績		満足度 94%			
進捗状況説明		観光地においては、雑草の成長前に作業を入れ、効率的な作業が行え、観光客の受け入れる環境が整った。今年度より自走式草刈機を導入し、マハナ、洞寺公園の作業が効率よく出来た。モニターツアー参加者へ満足度調査をおこなったところ、「とてもよかった」、「よかった」と答えた割合が94%となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	栗国村への観光客誘致及びリピート客を受け入れに向け、景観維持の向上を図る必要がある。天候不良により伴う作業日数の減少が生じた。今年度は、台風の影響が少なくギンネム(外来種)の成長が早く、作業時間に影響がでた。	シーズン、村のイベント前に美化作業をすることにより観光客の満足度を高めることができた。さらに観光客の満足度を高めるためにシーズンごとに開花できる植栽にも力を入れる必要がある。 賃金職員の採用については、年間を通じて就業できるよう指導し、作業時期、作業場所、時間を考慮し、安全な作業が行えるよう指導、及び管理を行う。
今後の取り組み方針		
観光客の期待を超える景観づくりを維持し、シーズンにあわせた緑化を推進することでリピート客を増やす。 外来種であるギンネムを駆除し、アクセス道路の美化及び、景観の向上を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>10,747</td><td>10,747</td><td>8,598</td><td>2,149</td><td>0</td></tr></table> 栗国村 10,747千円 賃金 9,831千円 備品購入費 280千円 需用費 636千円 作業員 4〜3月 延べ135人分 自走式草刈機 チェーンソー 作業に使用する消耗品及び燃料費					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	10,747	10,747	8,598	2,149	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
10,747	10,747	8,598	2,149	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先においては、賃金職員を村規定に基づき採用し、妥当であった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模について 村規定に基づき、積算し予算計上している。										
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。										

市町村名	栗国村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	栗国村「ア」のくにづくり推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)	
担当部署名	経済課		事業実施(予定)年度	平成26～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立	
事業内容	栗国村への観光客の誘客を図るため、栗国島「ア」の国まつりの開催、観光ツアーを実施するとともに、栗国島の地名度向上を図るため、島の自然や伝統文化などの地域資源を活用したPRグッズを製作する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	15,120	26,676	24,707		
		(b)予算現額	15,120	26,676	24,700		
		(c)増減額(b-a)	0	0	▲7		
		(d)繰越額	—				
		A.計(b+d)	15,120	26,676	24,700		
	B.執行済額		15,120	25,233	24,700		
	うち交付金充当額		12,096	20,186	19,760		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	94.6%	100.0%		
予算の状況の説明		不用額7千円については委託の入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	イベント開催:1回	目標	(栗国島「ア」の国まつり開催1回)	(栗国島「ア」の国まつり開催1回)	(栗国島「ア」の国まつり開催1回)	()	
		実績	栗国島「ア」の国まつり開催1回	栗国島「ア」の国まつり開催1回	栗国島「ア」の国まつり開催1回		
	観光ツアー:1回	目標	(観光ツアー実施1回)	(観光ツアー実施1回)	(観光ツアー実施1回)	()	
		実績	観光ツアー実施1回	観光ツアー実施1回	観光ツアー実施1回		
	PRグッズ制作:2点	目標	(2点)	(2点)	(2点)	()	
		実績	2点	2点	1点		
	達成状況説明	イベントの開催1回(10/8～9)・・・村内団体による芸能、ゲストライブ、カラオケ大会、打上花火を実施 観光ツアーの実施・・・キャンブツアー、シーカヤック・SUP(スタンドアップパドル)試乗体験を実施 PRグッズについては当初2点を計画したが、1点を制作し、村内外のイベント(「ア」の国まつり、離島フェア、県外プロモーションイベント)にて配布し、PRグッズの代替として本村の魅力を発信するためにプロモーション広告として県内の路線バス、那覇空港円柱広告、沖縄都市モノレール車内の広告を実施					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度
イベント来場者数		目標	()	(700名)	(800名)	(800名)	()
		実績		680名	800名	1098名	
観光ツアー参加者 (参考)H27:29名 H26:31名		目標	()	()	()	(35名)	()
		実績				108名	
来場者満足度調査 (参考)H27:88% H26:62%		目標	()	(70%)	(70%)	(90%)	()
		実績		62%	88%	90%	
観光ツアー満足度調査 (参考)H27:88% H26:87%		目標		()	()	(90%)	
		実績				94%	
進捗状況説明		・栗国島「ア」の国まつりでは村内団体による芸能、ゲストライブ、カラオケ大会、打上花火等を行い、当初目標に掲げていた来場者800名を超え、1098名を達成した。アンケート調査では村の情報発信や特産品販売などの充実、受入体制の強化などの意見があった。 ・観光ツアーは「ア」の国まつり開催と同時に、参加者は当初目標に掲げていた参加者35名を大幅に超え、108名を達成した。 ・観光ツアーでは「ありのままの栗国」を満喫してもらために、キャンブツアー、シーカヤック・SUP体験を実施し、満足度調査の結果、目標に掲げていた90%を達成した。来場者満足度調査は、まつり会場にてアンケートを実施し、来場者の満足度は90%と高く、村民との交流の充実、自然を満喫できたなどの意見があった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本村の認知度が低いため、観光客の誘客に向け、本村の更なる認知度を高めるため、イベントや観光ツアーを開催しマスコミやマスメディアを活用し、情報発信を行った。 しかし、観光入域数については、航空機が平成27年9月より運休のため、来島者が前年度比12%の減少となったため、日帰りを目的とした航空機利用による観光入域数についても少ない状況である。平成27年度と平成28年度の目的別入域数を比較すると平成27年度の来島者(20,283名)の内、12.1%の2,450名に対し、平成28年度の来島者(17,874名)の内、13.7%の2,440名が観光目的として来島していることから、入域数は減少しているが、割合は若干増加傾向にある。繁忙期の観光客増には効果があったが、今後は閑散期の観光客増を図るためイベントや体験メニューの開発を行い、観光客増を図っていききたい。 本村の魅力発信や村内での観光体験メニューや外国人への対応など充実を図る必要があり、今後は観光振興計画に基づいた様々な施策について観光協会と連携し、進捗評価を行う必要がある。	引き続き多様な観光内容を充実させるため、村と観光協会が推進体制を確立し、それぞれの役割を明確にすることが必要である。受入体制の強化や本村の認知度向上を図るために、情報発信を更に強化し、観光入域数増加の仕組み作りを検討し、認知度の向上を図るため島内外での周知活動を更に推進する必要がある。
今後の取り組み方針		
本事業は今年度で終了するが、栗国村観光振興計画で目標を掲げている平成33年に観光入域客数10,000人を目指すために、観光メニューの構築を検討し、観光協会と連携を取り、県内外へ本村の魅力を発信する。同事業の延長も含め新たな事業として、閑散期の観光客増のためのイベントを10月以降に実施し、閑散期に対応した体験メニューの開発を行う。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>24,700</td><td>24,700</td><td>19,760</td><td>4,940</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	24,700	24,700	19,760	4,940	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
24,700	24,700	19,760	4,940	0										
栗国村 24,700千円 委託料 24,700千円 丸正印刷株式会社 24,700千円 〔栗国村「ア」の国づくり推進事業委託業務〕														
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については3社見積に基づいて適正に積算を行っている。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村							
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	観光サイン整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)		
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成27~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	粟国島を観光周遊する観光客の利便性の向上を図るため、観光サインを整備する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,212	63,078				
		(b)予算現額	4,212	61,560				
		(c)増減額(b-a)	0	▲1,518				
		(d)繰越額	—	—				
		A.計(b+d)	4,212	61,560				
	B.執行済額		4,102	61,560				
	うち交付金充当額		3,281	49,248				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		97.3	100.0				
予算の状況の説明		委託の入札残のため予算1,518千円を12月変更申請にて減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)			達成状況				
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	観光サインの設計 観光サインの設置:67箇所 路面誘導サイン:10路線	目標	(観光サインの設計完了、観光サインの設置67箇所、路面誘導サイン10路線)	()	()	()		
		実績	観光サインの設計完了、観光サインの設置64箇所、路面誘導サイン11路線					
達成状況説明	平成27年度の観光サイン整備計画で予定していた観光サインの設置を67箇所から64箇所へ変更した。2箇所はあぜ道となり舗装されておらず危険なため、また1箇所は海岸沿いのため設置を行わなかった。路面誘導サインは予定していた10箇所から11箇所へ変更した。県道部分がアスファルトの張り替えを予定していることから、県道から外環(観光協会から一周線)について追加した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)			基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	観光サインの設置完了、路面誘導サインの設置完了	目標	()	(観光サインの設置完了、路面誘導サイン設置完了)	()	()	()	
		実績		観光サインの設置完了、路面誘導サイン設置完了				
	進捗状況説明	平成27年度に策定した観光サイン整備計画に基づき、地域や教育委員会、観光協会などと調整を行い、多言語対応新規サイン64基、路面誘導サイン11路線の整備及び既存サインの撤去20基の撤去を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光サイン整備計画に基づき、多言語対応の新規サイン64基、路面誘導サイン11路線、既存サイン撤去20基の整備を行った。拝所や立ち入りが危険な場所等については地域の方と調整し、設置場所を検討した。 今後、情報の一貫性や形状・仕様の統一性が得られないまま整備されることがないよう、定期的なサインの情報更新や関係者協議を行い、整備後の維持管理方法、管理の役割分担を明確にするなどの課題がある。	整備後の維持管理方法、台帳整備などを行い、観光サイン整備計画に則り、形状や仕様の統一性を図り、情報共有を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
今後更新する観光案内パンフレット、ロードマップ等の作成時に粟国村観光協会や教育委員会と情報を共有し、村民や来島者にわかりやすい情報の提供を行う。又、村内の名跡、拝所等の歴史、成り立ちなど子供たちに学んでもらえるよう教育委員会に働きかけていく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61,560</td><td>61,560</td><td>49,248</td><td>12,312</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	61,560	61,560	49,248	12,312	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
61,560	61,560	49,248	12,312	0										
粟国村 61,560千円 委託料 61,560千円 株式会社ネオ・プランニング 61,560千円 (粟国村観光案内サイン整備業務委託)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札により実施しており妥当であったと考えている。 ○予算規模については、3社見積に基づいて適正に積算を行い、不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村							
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④	景観計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-(ア)		
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	平成28～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり Ⅲ-1-(1)		
事業内容	「粟国島」の豊かな自然や歴史等の風景を活かした魅力的な観光地の景観形成に向けた景観計画を策定するため、基礎調査を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,913					
		(b)予算現額	5,594					
		(c)増減額(b-a)	▲ 319					
		(d)繰越額	—					
		A. 計(b+d)	5,594					
	B. 執行済額		5,594					
	うち交付金充当額		4,475					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		不用額319千円については委託の入札残によるもので、事業間流用を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	景観計画基礎調査の実施	目 標	(景観計画基礎調査)	()	()	()	()	
		実 績	景観計画基礎調査					
達成状況説明	村民アンケートの実施や沖縄県の景観計画等の整理等を踏まえ、本村景観計画の基本的考え方や位置づけを明確にするとともに、本村の景観特性・課題等を多面的に把握し、風景づくり施策のあり方等を整理した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
	景観計画の策定に向けた環境の整備・本村の景観特性、課題の把握	目 標	()	(本村の景観特性、課題の把握)	()	()	()	
		実 績		本村の景観特性、課題を把握した				
	・風景づくり施策のあり方の整理	目 標	()	(風景づくり施策のあり方の整理)	()	()	()	
		実 績		風景づくり施策のあり方を整理した				
	進捗状況説明	平成28年度は「基礎調査」と位置づけ、村民アンケートの実施や沖縄県の景観計画等の整理等を踏まえ、本村景観計画の基本的考え方や位置づけを明確にするとともに、本村の景観特性・課題等を多面的に把握し、風景づくり施策のあり方等を整理した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	景観計画の区域設定や良好な景観形成のための行為の制限(景観形成基準等)について、学習会やワークショップ等の開催を行うが、住宅等に関しては個人の所有物であり、合意形成に時間を要することが見込まれる。	村民アンケートの実施結果や沖縄県の景観計画等の整理等を踏まえ、本村景観計画の基本的考え方や景観特性・課題等を多面的に把握し、平成29年度の策定調査に生かし、住民の合意形成が得られるようワークショップや学習会など活発な意見交換を行い、「粟国島」の豊かな自然や歴史等の風景を活かした魅力的な観光地の景観形成に向けた景観計画が予定通り執行できるよう努める。
今後の取り組み方針		
平成29年度は「策定調査」と位置づけ、昨年度の成果を踏まえつつ、景観法に基づいた計画を策定するため、景観計画の区域設定や良好な景観形成のための行為の制限(景観形成基準等)を示すとともに、住民への十分な周知を図り、景観計画をとりまとめる。さらに、平成30年度には「実施調査」として位置づけ、景観計画を運用するための景観条例の作成や住民説明会を開催、わかりやすい景観ガイドラインの作成など、スムーズに行為の届出等の運用ができるよう取り組み、行為の届出等の運用を実施していくことは平成30年度の予定である。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,594</td><td>5,594</td><td>4,475</td><td>1,119</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,594	5,594	4,475	1,119	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,594	5,594	4,475	1,119	0										
粟国村 5,594千円 委託料 5,594円 株式会社都市科学政策研究所 5,594千円 粟国村風景づくり推進基礎調査策定業務委託														
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の10%以内であり適正な規模であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	照喜名原地区整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)	
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成27～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	粟国島を訪れる観光客の受け入れ基盤を強化するため、「ウーグの浜」を含む照喜名原地区の整備を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	予算の状況	(a)当初予算額	7,560	10,161			
		(b)予算現額	7,560	10,161			
		(c)増減額(b-a)	0	▲201			
		(d)繰越額	—	—			
		A.計(b+d)	7,560	9,960			
	B.執行済額		7,506	9,936			
	うち交付金充当額		6,004	7,948			
	次年度繰越額		—	—			
	執行率(%) (B/A)		99.3%	99.8%			
予算の状況の説明		225千円は契約額残によるもので、うち201千円は事業間流用を行った。24千円は契約額減による不用額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	照喜名原地区の保全・整備基本設計の実施	目標	(設計の実施)	()	()	()	
		実績	設計の完成				
達成状況説明	照喜名原地区の現況と課題の整理、意見交換会2回、検討委員会2回開催し、照喜名原地区の保全・整備基本設計を完成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	照喜名原地区の保全・整備基本設計の完成	目標	()	(基本設計の完成)	()	()	()
		実績		基本設計の完成			
	進捗状況説明	照喜名原地区の現況と課題の整理、意見交換会2回、検討委員会2回開催し、照喜名原地区の保全・整備基本設計業務を実施した。照喜名原地区整備基本設計を基に、次年度は実施設計し、海岸沿いを活かした新たな観光スポットの整備を進める。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	整備予定箇所は、保安林であるため、保安林解除については、伐採範囲を必要最小限に留める必要があることから、伐採エリアの植生状況、毎木調査を行い、県と十分な調整が必要である。そのため、現地の植生状況(どのような木がどのあたりにどれくらい自生しているかなど)が不明なため、実施設計時に毎木調査を実施することが必要となった。	次年度実施設計では、必要最低限の伐採範囲に留める必要があるため、保安林解除したい範囲がわかる図面をもって事前協議を重ねる必要があり、事業が計画どおり執行できるよう努める。
今後の取り組み方針		
照喜名原地区整備基本設計を基に、平成29年度は保安林解除に必要な毎木調査を含む実施設計を行い、この地区の新たな観光スポットとして整備する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>9,936</td><td>9,936</td><td>7,948</td><td>1,988</td><td>0</td></tr> </table> 栗国村 9,936千円 委託料 9,936千円 中央開発株式会社 9,936千円 〔 照喜名原地区の保全・整備基本設計業務委託 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,936	9,936	7,948	1,988	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,936	9,936	7,948	1,988	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考えている。 ○予算規模については、3社見積に基づいて適正に積算をおこなっている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	国際交流支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 総務課	事業実施(予定)年度	平成27～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材の育成を図るため、村内の中学生の海外短期留学を支援する。また、留学体験報告の発表を行い、村内小中学生への外国語学習意欲の向上を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,805	2,906			
		(b) 予算現額	1,805	2,906			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計 (b+d)	1,805	2,906			
	B. 執行済額		1,508	2,695			
	うち交付金充当額		1,340	2,156			
	次年度繰越額		—	—			
	執行率 (%) (B/A)		83.5%	92.7%			
予算の状況の説明		不用額211千円は契約額残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	海外ホームステイ生徒派遣	目標	(3名)	(5名)	()	()	
		実績	3名	5名			
	報告書作成	目標	()	(20部)	()	()	
		実績		20部			
達成状況説明	中学生の参加希望者が予定人数5名を上回ったため選考を行った。参加決定者はALTや英語担当教員、教育委員会で事前学習を実施した。7月下旬～8月にかけて夏期休校の時期にアメリカ合衆国ワシントン州ピュヤラップへホームステイ派遣を実施した。また帰国後、報告書の作成及び村内行事での発表も実施して成果報告もすることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	短期留学者から提出された英文報告書を活用した発表の実施	目標	()	(提出)	(発表の実施)	()	()
		実績		提出	学習発表会にて英文報告書を活用した発表を実施		
	英検受験者数の増加(H26実績13人)	目標	()	(受検)	(英検受験者数の増加)	()	()
		実績		受検	H28実績18名		
	英語スピーチの実施	目標	()	(出場)	(英語スピーチの実施)	()	()
		実績		出場	英語スピーチの派遣2名		
	進捗状況説明	・短期留学者5名から提出された英文報告書は学習発表会で英語で報告を全員が行った。 ・平成26年実績13名と比較し、平成28年度は英検受験者18名となっており、増加している。短期留学に向け英語に関する学習意欲が向上している。 ・英語スピーチの実施として、選考し、英語ストーリーコンテストへ2名の生徒の派遣を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	前年度募集を掛けたところ派遣人数の倍の申請があり参加意欲のある生徒が参加できず、また学校側からも、意欲のある生徒をホームステイに行かせたいが人数の縛りがあるため貴重な勉強の機会を与えることができないという意見を受け、生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身に付けた人材育成のために必要と考え、今年度は海外短期留学生徒派遣数を昨年度3名から5名とした。 英語の学習意欲の向上の目標として英検受検を推奨しているが、全体としてはまだ低い受検者数となっている。 短期留学者の英文での発表の場が少ないことから、より他の児童生徒の関心や向上心を高めるような取組が必要である。	引き続き、派遣生徒数については、募集等の状況を確認しながら検討する。 外国語学習の習熟度を高めるため、英検受検を更に推奨を行う。受検費用については、村が受験料の半額を補助していることから、受検者の負担になることがないと思われる。 発表以外に今後参加を希望する生徒や参加していない生徒達との情報共有の場づくりや村内での成果の周知等についての取組を増やす必要がある。
今後の取り組み方針		
平成29年度以降も事業を継続し、英語学習への関心度を高め、英検受検者数の増加と実践発表の場を増やし、学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材育成を目指す。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,695</td><td>2,695</td><td>2,156</td><td>539</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,695	2,695	2,156	539	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,695	2,695	2,156	539	0										
栗国村 2,695千円 委託料 2,695千円 (株)南日本カルチャーセンター 2,695千円 国際交流支援事業委託業務														
資金の流 れ、使 途の 点 検 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○他社の企画と比較しても内容と予算規模は適正である。 ○事前研修に必要な交通費等は参加者の負担となっており、目的達成のためには妥当な負担関係である。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により、確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	学力向上支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-(イ)	
担当部課名	教育委員会 総務課	事業実施(予定)年度	平成27～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
事業内容	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、児童生徒の学力向上を図るため、村営塾の運営を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	予算の状況	(a)当初予算額	18,688	4,565			
		(b)予算現額	13,688	3,858			
		(c)増減額(b-a)	▲5,000	▲707			
		(d)繰越額	—	—			
		A.計(b+d)	13,688	3,858			
	B.執行済額		10,744	2,971			
	うち交付金充当額		8,595	2,377			
	次年度繰越額		—	0			
	執行率(%) (B/A)		78.5%	77.0%			
予算の状況の説明		不用額887千円は直接経費塾講師の滞在を民宿としていたが、アパートを借用したことにより精算時に減となった。うち707千円は他事業費の不足により流用したものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	村営塾の運営	目標	(村営塾の運営)	()	()	()	
		実績	村営塾の運営				
達成状況説明	村内の小中学校で村営塾を開催し、児童生徒への学習支援を実施した。村営塾の受講率は40%となった。 小学生(45分)中学生(50分)として下記のとおり授業実施 ○小学4～6年生週4日間6コマ実施(金土日) ○中学1年生は、週3日間9コマ実施(金土日) ○中学2年生は、週3日間9コマ実施(土日月) ○中学3年生は、週4日間18コマ実施(金土日)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	島内の児童生徒の学習環境の充実	目標	()	()	(学習環境の充実)	()	()
		実績			学習環境の充実		
	全国学力調査で県平均を上回る	目標	()	(平均以上)	(県平均上回る)	()	()
		実績		下回った	小学性:未達成 中学生:達成		
	進捗状況説明	へき地離島である本村では教育環境格差の解消及び確かな学力の向上と人材育成のため、学習塾を実施している。塾を活用することにより、テスト対策のノウハウを学び、前年度から今事業を継続して実施し、学習環境の充実を図った。全国学力調査の結果として中学生は、県平均を上回った。しかし小学生は県平均を下回る結果となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	学校行事、部活動大会等で塾を開催できない日があった。受講率が40%と半分以下になってしまったため、受講率を上げる方法を考える必要がある。 入札不調等もあり、県内での委託業者数が少ない。	大会等で塾を実施できない場合については、別日を設けて授業を実施する必要がある。また受講率をあげるためには、保護者への理解が必要なため保護者説明会に使用する資料等を充実させ、保護者の積極的な参加を促す。とくに受験生をもつ保護者に対しては、受験に関する資料及び進学校等の資料を準備し参加をよびかける。 入札の件について、県内委託業者だけではなく村独自で塾を運営し、村内外から人材を集めるという方法も検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
学校・保護者・教育委員会の連携を密にし、情報交換を行いながら本村にあった塾運営を行い、児童生徒の学力向上を引き続き実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,971</td><td>2,971</td><td>2,377</td><td>594</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,971	2,971	2,377	594	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,971	2,971	2,377	594	0										
栗国村 2,971千円 委託料 2,971千円 一般社団法人教育振興会 2,971千円 (アニー学力アップ支援事業委託業務)														
資金の流 使途の流 点検 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○精算による減もあり不用額が33%となった。 ○費目、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村						
平成 2 8 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	粟国村キャリア教育支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部課名	教育委員会 総務課	事業実施(予定)年度	平成 2 7 ~ 3 3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	職種が限られた小規模離島における村内の小中学生の職業観の幅を広げ、就業観の形成に向けて、職業を見学・体験する機会を設けるため、児童・生徒への支援等を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,494	3,384			
		(b) 予算現額	6,494	3,384			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計 (b+d)	6,494	3,384			
	B. 執行済額		6,480	3,328			
	うち交付金充当額		5,184	2,662			
	次年度繰越額		—	—			
	執行率 (%) (B/A)		99.8%	98.3%			
予算の状況の説明		56千円の不用額は精算時の実績による減である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	研修講演 1回	目 標	(・1回)	(・1回)	()	()	
		実 績	・小学校2回 ・中学校3回	・小学校1回 ・中学校1回			
	沖縄本島での職業見学・体験 1回	目 標	(1回)	(1回)	()	()	
		実 績	・小学校1回 ・中学校1回	・小学校1回 ・中学校1回			
達成状況説明	・小中学生それぞれ職場体験後に研修講演として「キャリア講話」を実施した。小学生への講話内容は、社会が求める人材、日本沖縄にある仕事、入社試験で見られている内容、家や学校での基本的な生活習慣が社会での働く力となる等の働く大人をみた児童自分がはたらくために何が必要か考えるきっかけとなった。中学生への講話内容は、小学生の内容とさらに沖縄の産業界の現状や離職率、ニートの現状などを学び進路選択に活かし、将来の夢の実現化に向けて考えるきっかけとなった。 ・職場見学は小学生9名5つの事業所を見学した。中学生は28名が14事業所で職場体験を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	島内小中学生の職業を見学・体験をする機会の確保:100%	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
	進捗状況説明	対象となる全児童生徒(小学生9名、中学生28名)が職場見学・体験を実施できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	高校のない本村では、15の春を迎えるまでに地域を知って育ち、誇りをもって社会の一員となるべく人材の育成をおこなうためキャリア教育を行う必要がある。教育現場では教員が1～2年で入れ替わるため村として一貫したキャリア教育の確立を明確にする必要がある。 児童生徒は、大会や行事等が多く日程を確保することがむずかしく、またフェリーの欠航による日程の振替や移動手段の確保が課題である。 村内事業者で職業見学や体験ができるリスト等の作成が必要である。	村キャリア教育プログラムの作成を行い、中長期的な人材育成の手立てとして位置づける必要がある。 年間行事計画に位置づけ、日程調整ができるよう関係機関と連携を図る。 職場見学や体験を受け入れてくれる事業者リストを作成する。
今後の取り組み方針		
村として明確なキャリア教育プログラムを作成し、学校、教育委員会で推進する。また職場見学や体験受入の村内事業者リストを作成し、さまざまな体験や見学の充実を図る。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,328</td><td>3,328</td><td>2,662</td><td>666</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,328	3,328	2,662	666	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,328	3,328	2,662	666	0										
栗国村 3,328千円 委託料 3,328千円 株式会社ケイオーパートナーズ 3,328千円 栗国村キャリア教育支援事業委託業務														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・予算規模については、3社見積に基づいて適正に積算を行い、不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ・費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により、確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村							
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-④	児童・生徒派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-(ア)		
担当部課名	教育委員会 総務課	事業実施(予定)年度	平成27～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充			
					Ⅲ-3-(1)			
事業内容	離島の児童・生徒の島外の大会、教育活動への参加の機会を確保するため、児童・生徒の派遣費を支援する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	27年度	28年度	29年度	30年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	3,416	8,673	4,151			
		(b)予算現額	2,571	8,673	1,911			
		(c)増減額(b-a)	▲845	0	▲2,240			
		(d)繰越額	—	—	—			
		A.計(b+d)	2,571	8,673	1,911			
	B.執行済額		526	1,048	1,756			
	うち交付金充当額		421	838	1,405			
	次年度繰越額		—	—	—			
	執行率(%) (B/A)		20.5%	12.1%	91.9%			
予算の状況の説明		2,395千円はフェリーの欠航等で派遣できなかったもので、うち2,240千円は費用が不足していた事業へ流用したものである。不用額155千円は精算時の減である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度		
	児童・生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援	目標	(支援)	()	()	()		
		実績	支援実施					
達成状況説明	悪天候等によりフェリー欠航で参加できない大会もあったが、バドミントン大会・リコーダーコンテスト・交流学习といったスポーツ・文化・教育活動に係る派遣が実施できた。本村の学校では、児童生徒の積極的な部活動に取り組む姿勢が高いためバドミントン部やリコーダー部、音楽発表会では、優秀な成績を収めることができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	29年度	
	島内の児童生徒の島外での諸教育活動への参加機会の確保:100%		目標	()	(参加機会の確保 100%)	()	()	()
			実績	参加機会の確保 100%				
	進捗状況説明	本村にある学校では、スポーツ活動及び文化活動において、力をいれており、特にバドミントン及びリコーダーについては、県大会等で優秀な成績をおさめており、中体連主催で開催されている大会についても積極的に参加できるよう年間行事計画で確保しており、参加機会が希望者に対し100%確保できた。文化面についても、島尻地区音楽発表会においても小中ともに地区代表に選ばれ全沖縄音楽発表会に出場し、よい結果をおさめている。。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	台風前後や冬場はフェリーの欠航率が高く、児童生徒等が島外へ移動できずに大会等に不参加となるケースがある。 フェリー欠航等による大会派遣が厳しい場合において、ヘリタクシーを利用してみた結果、児童生徒を派遣することができたが、ヘリタクシーも天候不良等により欠航する場合もあるため児童生徒を派遣できない場合もある。	天候に応じてヘリタクシー及びフェリーを使い分けるなど、交通機関と連携して計画した大会等に確実に児童生徒を派遣できるよう対応する必要がある。
今後の取り組み方針		
計画した大会等に児童生徒を確実に派遣できるよう、天候に応じてヘリタクシー及びフェリーを使い分ける。 飛行機の運航が開始された場合は、フェリーと飛行機を派遣事業ごとに決定する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,951</td><td>1,756</td><td>1,405</td><td>352</td><td>194</td></tr> </table> 栗国村 1,756千円 補助金 1,756千円 栗国小中学校 (児童生徒・指導者) 1,756千円 (児童生徒派遣費補助金) (保護者負担分(交付対象外経費)) 194千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,951	1,756	1,405	352	194
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,951	1,756	1,405	352	194										
資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先について、栗国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき、栗国小中学校を通して児童・生徒に間接的に補助する形態であり、妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、フェリー欠航等による残はあったが、その他については妥当であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については栗国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づいて保護者から一律の負担となっており、妥当であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、栗国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき支給していることや派遣費の使途については精算時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											

市町村名	粟国村						
平成 2 8 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3	和牛改良支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章－3－(3)－イ	
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成25～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 Ⅲ－1－(6)	
事業内容	島内の畜産業の振興を図るため、付加価値の高い仔牛の生産体制を構築に向けて、優良仔牛(母牛になる素牛)の導入する畜産農家を支援する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,000	3,000	4,500	4,000	
		(b) 予算現額	6,000	3,000	4,500	4,000	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	
		(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)		6,000	3,000	4,500	4,000	
	B. 執行済額		6,000	3,000	2,400	3,882	
	うち交付金充当額		4,800	2,400	1,920	3,105	
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	53.3%	97.1%	
予算の状況の説明		当初予算委において10頭分(上限40万円又は2分の1のいずれか低い金額)で、4,000千円を確保し事業執行した。6頭については、上限額の400千円での確保であったが、4頭は購入経費が800千円を下回ったため、精算時に118千円の不要が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	和牛導入支援頭数 10頭	目 標	(20頭)	(10頭)	(15頭)	(10頭)	
		実 績	20頭	10頭	8頭	10頭	
達成状況説明	当初計画どおりの頭数を導入することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	優良仔牛(母牛になる素牛)導入率100%(H25～H28累計)	目 標	()	(60%)	(60%)	(100%)	()
		実 績		60%	76%	100%	
	進捗状況説明	平成25年度に20頭、平成26年度に10頭、平成27年度に8頭導入で、76%となっており、平成28年度までに50頭目標としていたが、子牛価格が高騰した為、農家自身の資金不足で当初計画どおりに導入することが出来ない事情があり、目標を48頭へ修正した。平成28年度は、当初計画を10頭としており、計画的に導入することが出来た。平成25～28年度の4年間における実績は48頭 100%となり、成果目標を達成できた。					

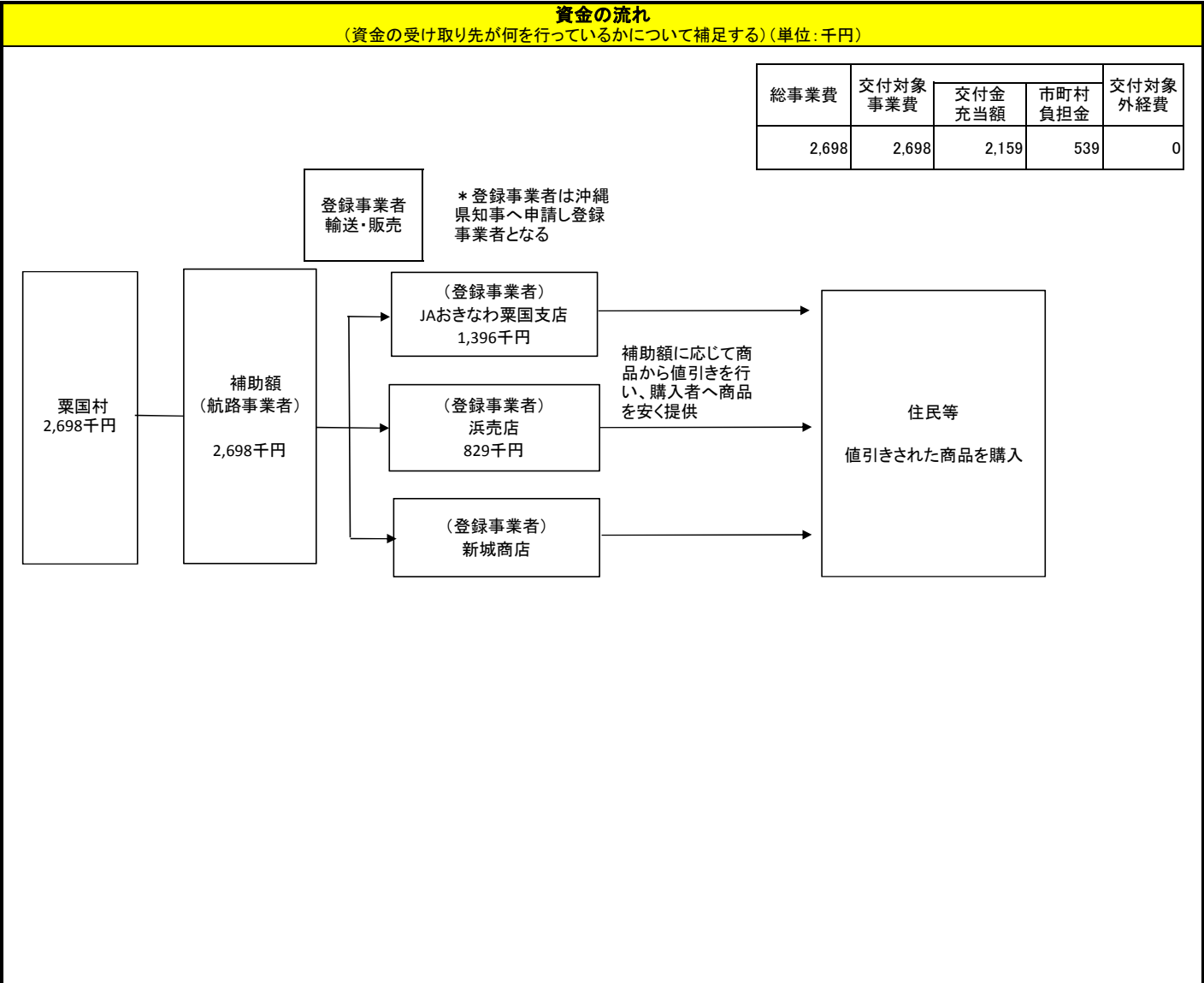
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	畜産農家が小規模経営で、母牛の高齢化が進んでいて、付加価値の高い仔牛の生産が厳しいことから、優良仔牛導入を支援することにより、仔牛の生産向上及び母牛更新により長期的な経営の安定化を図る。導入牛から生まれた雌牛については、1頭を自家保留することを条件に進めており、適切な指導を行う必要がある。仔牛の購入価格の高騰により、計画的な導入が出来ない状況にあったが、要綱の一部改正により、上限40万円又は1/2のいずれか低い額となったことにより、計画的な導入が出来た。	優良仔牛(母牛になる素牛)導入の費用の一部を補助した事により、仔牛価格の増加を図り、畜産農家の所得向上と経営安定を図り、担い手の育成に繋げていく。
今後の取り組み方針		
今後は導入した優良仔牛の適正飼育等、年一産及び優良仔牛の育成のため、家畜共済(獣医師)、JAおきなわ、関係機関等と連携をとり、月1～2回程度巡回指導を行い長期的な安定した経営を支援する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,882</td><td>3,882</td><td>3,105</td><td>777</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,882	3,882	3,105	777	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,882	3,882	3,105	777	0										
栗国村 3, 882千円 → 委託料 3, 822千円 → 沖縄県農業協同組合 栗国支店 3, 882千円 (和牛改良支援事業委託業務)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は、地方自治法施工令第167条の2第1項第2号に基づき、農家の実情を把握し、適切な指導ができるJAと随意契約しており妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、導入牛のセリ市場価格を参考に積算しており、不用額が委託費の3%内で適正であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益農家は総事業費の2分の1を負担しており事業内容や負担割合から判断し、妥当と考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については事業目的達成の観点から額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											

市町村名	粟国村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	離島食品・日用品輸送費等実証事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-(ア)		
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成28～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	交通・生活コスト低減		
事業内容	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から粟国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援実証を実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
		(a) 当初予算額	3,113				
		(b) 予算現額	3,113				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	3,113					
	B. 執行済額	2,698					
	うち交付金充当額	2,159					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	86.7%					
予算の状況の説明	平成28年7月1日～平成29年3月15日の間の食品・日用品輸送経費の実績により補助額の確定を行った。415千円は精算額の残によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等のの輸送経費及び作業経費の支援	目 標	(輸送経費及び作業経費の支援)	()	()	()	
		実 績	7月より輸送経費及び作業経費の支援実施完了				
達成状況説明	平成28年6月に登録事業者の決定を行い、7月1日の輸送経費から補助開始を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値 (年度)	28年度	29年度	30年度	目標値 (年度)
	・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(那覇市を100とした場合の指数)の縮小 (参考)H27指標:132程度	目 標	()	(132以下)	()	()	()
		実 績		124.1			
	進捗状況説明	登録している3事業者の商品(食品・日用品)輸送経費を平成29年7月から補助開始。この補助額に応じて各事業者が商品販売額の値引きを行った結果、沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(那覇市を100とした場合の指数)が、平成27年9月は132.2だったのに対し、本事業開始後の平成28年12月には124.1となり8.1も下がることとなった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業の開始に伴い、本村の航路事業についての貨物運賃規程の見直しを行うことからはじめ、本事業の運用の中で商品ごとの補助適用・適用外の判断等も県と協議しながら行った。特に、判断が難しい点が、本村は家庭菜園等で利用する商品を購入する人も多く、農業として営利目的での必要商品との判別が困難な状態であったため、各登録事業者へその旨を伝え、その都度商品の販売用途の確認を行ってきた。その結果当初は毎月の補助額を確定させるのに時間を要したが、県・村・登録事業者の3者間ともに事業の補助内容が明確になり、効率的に作業を行うことができた。 また、登録事業者へ補助実績を報告していくことで、販売額へ反映させ、値引きを行い、また本事業を利用した値引きであることがわかるようにPOP広告を作成して周知活動へも協力頂いた。そのため村内でのアンケート調査では、本事業の認知度が88.3%という高い結果となっている。	住民ニーズに応じた特定商品を特売セールで還元する、または曜日限定で一定割合で値引きする方法で還元するなど住民が実感しやすい方法での値引き販売や卸売業者からの仕入れ価格が高いことから、仕入れ方法の工夫などを共有し、離島の生活コスト低減を図る。

今後の取り組み方針
今後も昨年同様に登録事業者へ離島食品・日用品の輸送経費の補助を継続し、本村住民の生活コストの低減を図る。



資金の流 れ、費 用、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先について、離島食品・日用品輸送費等補助事業補助金交付要綱に基づき、知事により登録を受けた小売業者に補助対象品目の輸送を行う航路事業者に補助を行い、県と村で2分の1補助する形態であり、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、実績による415千円の残はあったが、その他については妥当であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については要綱に基づいて補助対象品目のみの輸送費の補助であるため妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、要綱に基づき補助しており、精算時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	粟国村						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	粟国村交通移動手段安定化対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成27～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-10-(1)	
事業内容	島民及び観光客の交通ネットワーク手段を安定的に確保するため、航空路線が運航日以外の日にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,713	32,960			
		(b) 予算現額	13,440	36,958			
		(c) 増減額 (b-a)	2,727	3,998			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計 (b+d)	13,440	36,958			
	B. 執行済額		13,440	36,160			
	うち交付金充当額		10,752	28,928			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	97.8%			
予算の状況の説明		利用者が想定より上回ったため、3,998千円を事業間流用により増額した。また、798千円は精算による残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	航空路線が運航日以外の日の島民及び観光客のチャーターヘリ利用料金を一部支援		目 標 (利用料金を支援)	(利用料金を支援)	()	()	
			実 績 利用料金を支援	利用料金を支援			
達成状況説明		4月5日から3月24日まで452フライトに対する支援を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値 (年度)	27年度	28年度	29年度	目標値 (年度)
	定期航空路が運行しない日の島民及び観光客の移動手段の確保		目 標 ()	(移動手段の確保)	(移動手段の確保)	()	()
			実 績	移動手段の確保	移動手段の確保		
	進捗状況説明		チャーターヘリの運航により、移動手段の確保が行えた。 定期空港路再開までヘリ利用に対し、1フライト8割補助を実施しており、フェリーの補完的交通手段として、1,609人の利用実績があった。				

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化） ①平成27年度に本事業を開始し、チャーターヘリ利用者負担を軽減するため乗合の受付を役場で行っているが、乗合も貸切の予約も含めて搭乗日の前日からの予約のため、早めに予約が確定できたいため、利用することが難しい現状がある。 ②フェリー欠航時等はヘリの搭乗希望者から役場へ連絡がくるが、天候不良の場合、周辺離島でも同航空会社へのヘリの予約が殺到するため、本村の搭乗希望者が予約できないことが多々ある。 ③平成28年度10月から今まで補助を行っていたアイリス航空株式会社が「エクセル航空株式会社」に変更となった。また平成29年度より通常料金が108,000円から162,000円と値上がりとなった。	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点） ①平成29年度から航空会社の制度として1か月前からの予約が可能となった為、住民にとっても利用しやすくなっている。 ②住民へのヘリの利用に関して、周辺離島も利用することや、悪天候の場合は予約が殺到するため早めの予約をするよう、問合せがある際は細かくアナウンスし周知していく必要がある。 ③エクセル航空株式会社への補助交付を行い、料金の値上がりについて、利用者負担が増額しないよう、県と協力し補助額の再検討が必要となる。
	今後の取り組み方針 ①1か月前からのヘリの利用が可能となったためエクセル航空会社が発行したチラシを住民へも配布し制度変更について周知を行う。 ②搭乗希望者からの問合せ時には、ヘリの予約方法・また予約が混み合うことを伝え、早めに貸切の予約をエクセル航空に連絡するようにご案内する。 ③県の離島交通ネットワーク確保事業と協調補助を行っていくこととなり、利用者負担は変わらず、また本事業の1便に対する補助額も変更せずにチャーターヘリの利用が可能となった。	

今後の取り組み方針

- ①1か月前からのヘリの利用が可能となったためエクセル航空会社が発行したチラシを住民へも配布し制度変更について周知を行う。
- ②搭乗希望者からの問合せ時には、ヘリの予約方法・また予約が混み合うことを伝え、早めに貸切の予約をエクセル航空に連絡するようにご案内する。
- ③県の離島交通ネットワーク確保事業と協同補助を行っていくこととなり、利用者負担は変わらず、また本事業の1便に対する補助額も変更せずにチャーターヘリの利用が可能となった。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
45,200	36,160	28,928	7,232	9,040

栗国村
45,200千円

補助金
36,160千円

エクセル航空株式会社
(前: アイラス航空株式会社)
36,160千円

ヘリコプターチャーターに対する
運賃の一部支援

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、ヘリ運航事業者はアイラス航空株式会社のみが参入しているので妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は当初の想定を上回ったため流用により2,727千円増額したが、事業内容に見合った適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は1フライトにつき8割補助、2割受益者負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	粟国村							
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-③	粟国村空き家活用推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成28～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	観光地としての景観向上に向けた島内に残る古民家の保存・再生・活用と定住促進や交流人口の増加に向けた空き家住宅の利活用について検討するため、実態調査を実施し、保全・利活用のための基本計画を作成する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	8,829					
		(b)予算現額	7,658					
		(c)増減額(b-a)	▲1,171					
		(d)繰越額	—					
		A.計(b+d)	7,658					
	B.執行済額		7,657					
	うち交付金充当額		6,125					
	次年度繰越額		—					
	執行率(%) (B/A)		99.9					
予算の状況の説明		入札の結果、空き家活用調査業務委託の契約額が積算よりも減になったことから、不要となる委託料1,171千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度		
	保全・活用基本計画の検討	目標	(保全・活用計画の検討)	()	()	()		
		実績	保全・活用計画の策定完了					
達成状況説明	空き家・古民家の状況調査、所有者アンケートをふまえ、空き家・古民家の保全・活用について策定委員会にて検討し、粟国村空き家等保全・活用基本計画策定を完了し活動目標を達成した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
	・古民家の保全・再生・活用と空き家住宅の活用に向けた整備を実施するための基礎資料の整理	目標	()	(基礎資料の整理)	()	()	()	
		実績		基礎資料の整理完了				
	・古民家・空き家住宅保全・活用についてとりまとめる。	目標	()	(保全・活用とりまとめ)	()	()	()	
		実績		保全・活用とりまとめ完了				
	進捗状況説明	空き家・古民家の状況調査、所有者アンケートを実施したことで、計画上定義した空き家は多いが、定期的に来訪し、活用していることが分かった。空き家・古民家の保全・活用について策定委員会を開催し粟国村空き家等保全・活用基本計画を策定し、保全・活用の方向性が決定した。交流人口増加のため空き家を段階的に所有者と相談しながら適正管理と活用方策について相談体制を確立する必要がある。今後は推進体制のもと優先的に取り組む具体策について検討を行う。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	人口減少により、空き家が多くなり、景観向上に向けた島内に残る古民家の保存・再生・活用と定住促進や交流人口の増加に向けた空き家住宅の利活用について検討する必要があった。空き家の調査から本村の空き家率は50%、またその空き家の9割に仏壇があり、6割以上は定期的に所有者等が来訪している。また空き家所有者の意向調査からは、仏壇があり、年に数回親戚なども含め家屋を使用しており、7割以上が現状のまま使用したい意向であった。 今回の調査では利活用の可能性のある空き家は9軒となっているが、活用については具体的な取組例を参考に、今後慎重に検討する必要がある。 課題として若者がUターンできるような雇用創出や空き家問題の啓発に努め地域振興のために空き家活用が必要であると理解が得られるような取組が必要である。	空き家活用については中長期にわたって対応が必要であり、所有者の意向も変化していくことが予想され、情報提供を行いながら継続して情報収集や相談体制の仕組みを整える必要がある。 今後計画されている景観計画や空家等対策の推進に関する特別措置法や移住定住情報ポータルサイトの構築、あらたな雇用の創出等と合わせて推進することが必要である。
今後の取り組み方針		
粟国村空き家保全・活用基本計画を推進するにあたり、平成29年度は観光・移住定住のための相談体制の確立と情報発信を行う予定である。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,657</td><td>7,657</td><td>6,125</td><td>1,532</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,657	7,657	6,125	1,532	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,657	7,657	6,125	1,532	0										
粟国村 7,657千円 委託料 7,657千円 株式会社国建 7,657千円 (空き家活用調査業務の委託)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、3社見積に基づいて適正に積算を行い、不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村							
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-④	福祉文化施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-(イ)		
担当部署名	民生課	事業実施(予定)年度	平成28～31年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-10-(1)		
事業内容	定住条件の充実を図るため、子育て・文化振興・健康増進の拠点整備を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,696					
		(b)予算現額	5,508					
		(c)増減額(b-a)	▲188					
		(d)繰越額	0					
		A.計(b+d)	5,508					
	B.執行済額		5,460					
	うち交付金充当額		4,368					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		99.1%					
予算の状況の説明		不用額48千円については委託の入札残によるもので、188千円は事業間流用を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度		
	福祉文化施設整備基本計画の策定	目標	(基本計画の策定)					
		実績	基本計画の策定完了					
		目標						
		実績						
達成状況説明	一部建築の有識者を入れて7名による策定委員会を立ちあげ、2月と3月にそれぞれ2回開催し、粟国村福祉文化施設整備基本計画を策定した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
	福祉文化施設整備基本計画の完成	目標	(基本計画の完成)					
		実績	基本計画の完成					
	進捗状況説明	定住環境の充実を図るため、村内に分散する施設の複合化について検討するため、資料館、保健福祉の利用状況、子育て関連施設などを調査した。施設の老朽化によるものもあるが、住民の交流拠点を複合化し、来島者との交流も兼ねることができる施設の整備が急務である。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	現時点では、候補地は2箇所に絞っているが、両方とも、地権者の同意を得るには至っていない。地権者が村外に多く、そのほとんどが未相続物件である事が要因ではあるが、早急に用地交渉等を行う必要がある。用地交渉を済ませ候補地を確定させたいうえで、基本設計に臨む。	土地の権利関係についても十分確認し、過程で「栗国村福祉文化施設整備基本計画策定報告書」を用いて地権者に十分な説明を行う。新たなニーズへの対応についても十分な検討を行い調整を行う。
今後の取り組み方針		
基本計画が策定されたので、今後は2箇所ある候補地のうち優位とされている候補地について、地権者との交渉を済ませて候補地確定のうえで基本設計実施に向け取組む。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,460</td><td>5,460</td><td>4,368</td><td>1,092</td><td>0</td></tr> </table> 栗国村 5,460千円 委託料 5,460円 (資)宮里建築設計事務所 5,460千円 (栗国村福祉文化施設整備基本計画策定業務委託)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,460	5,460	4,368	1,092	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,460	5,460	4,368	1,092	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の10%以内であり適正な規模であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村							
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-①	漁業振興支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-(イ)		
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	後継者が減少している本村漁業の振興に向け、養殖事業の導入可能性調査を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,925					
		(b)予算現額	3,639					
		(c)増減額(b-a)	▲285					
		(d)繰越額	0					
		A.計(b+d)	3,640					
	B.執行済額		3,639					
	うち交付金充当額		2,911					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		不用額285千円については委託の入札残によるもので、事業間流用を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度		
	養殖導入可能性調査の実施	目標	(養殖可能性調査の実施)	()	()	()		
		実績	養殖可能性調査の完了					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	陸上養殖施設事業導入の可能性についての基本調査を行い、検討委員会を開催した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
	養殖導入可能性調査の完了	目標	()	(養殖導入可能性調査の完了)	()	()	()	
		実績		養殖導入可能性調査の完了				
	進捗状況説明	本村は四面を海に囲まれ豊富な漁場を有しているが近年、漁業従事者の高齢化や漁獲設備の老朽化等により漁獲高及び漁業従事者の減少が続いている。そのため新たな雇用の確保と地域産業の育成を図る上で、自然環境に左右されることの少ない陸上養殖事業導入の可能性について、県内養殖の現状把握、先進地事例、村内建設予定地調査、養殖魚種の検討、施設規模等の調査を行った。その調査を基に検討委員会を2回開催して協議をおこなった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	漁業従事者の高齢化や後継者不足、漁獲設備の老朽化等により漁獲高の減少が続いている。新たな雇用の確保と地域産業の育成を図る為、陸上養殖施設の導入可能性調査に取り組んだ。今後推進していく中で、販路の開拓、養殖技術者の確保、候補地選定等の課題がある。	世界的に水産物需要の拡大が見込まれ、県内離島でも陸上養殖が行われ、成果をあげている事から、本村でも新たな雇用の創出と地域産業の育成のため、陸上養殖の導入について推進することとなった。 陸上養殖については、施設整備のインシャルコスト、電気使用料等のランニングコストが高額であることからコストの低減による収益性の確保などエネルギーの有効利用などの検討が必要である。今後事業を推進するため養殖技術者の育成や健全な種苗の確保など陸上養殖の動向を踏まえながら実証実験を行い、事業推進を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
今回の調査により、施設候補地を3地区に絞り込んでおり用地の確保、水道電気等のインフラ整備状況等を考慮し、もっとも適した候補地を選定する。養殖する魚種については、稚魚の供給が可能で、本村に適した魚種を選定し、栽培技術の確率を図るため実証試験を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,639</td><td>3,639</td><td>2,911</td><td>728</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,639	3,639	2,911	728	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,639	3,639	2,911	728	0										
栗国村 3,639千円 委託料 3,639円 上城技術情報株式会社 3,639千円 (栗国村陸上養殖施設導入可能性調査委託業務)														
資金の流 使途の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の10%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村						
平成 2 8 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	環境衛生処理事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-イ	
担当部署名	民生課	事業実施(予定)年度	平成 2 8 ~ 2 9 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	適正処理の推進	
事業内容	循環社会の形成を図るため、生ごみ処理機を導入し、生ごみの島内処理体制を構築する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
		(b) 予算現額	1,785				
		(c) 増減額 (b-a)	1,725				
		(d) 繰越額	▲ 60				
		A. 計 (b+d)	—				
	B. 執行済額		1,725				
	うち交付金充当額		1,674				
	次年度繰越額		1,339				
	執行率 (%) (B/A)		0				
	執行率 (%) (B/A)		97.0%				
予算の状況の説明		他事業に不足が生じたため60千円は、事業間流用を行った。60千円は契約額の残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	環境衛生処理施設の実施設設計の実施	目 標	(設計図書の作成)	()	()	()	
		実 績	設計図書の完成				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	平成27年10月より離島ごみ処理広域化を推進し、可燃ごみを那覇・南風原クリーンセンターへ委託処理を実施しており、更に減量化及び循環社会の推進のため、生ごみを回収・処理し堆肥化を推進する。そのため生ごみ処理機を設置し、作業するための建屋の設計を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	環境衛生処理施設の実施設設計の完成	目 標	()	(設計図書の完成)	()	()	()
		実 績		設計図書の完成			
	進捗状況説明	回収した生ごみを処理するための生ごみ処理機や破砕機、堆肥としての保管場所等など作業効率のよい動線また、衛生的な環境づくりとなるよう考慮し設計を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本村では那覇・南風原クリーンセンターへ可燃ごみの委託処理をしていることから可燃ごみの減量に取り組んでいる。 ごみの種類組成から古紙・布(45%)、ちゅう芥類(17%)の試料から平成27年度に古紙類の資源化に取り組んだ。今後可燃ごみの委託処理の単価について平成28年度(27,000円/t)であったが、年々増額する傾向にあるため可燃ごみの生ごみを減量する必要があり、生ごみ処理機の早期供用開始が必要である。 また、ゴミの搬出についてフェリーを活用していることから害虫の対策に苦慮している。 生ごみの回収方法について周知や、堆肥化できた肥料の有効活用について検討する必要がある。	現状の協議会にて回収方法や堆肥の活用について検討する。 建屋の早期完成と生ごみ処理機の導入を計画どおり執行できるよう努める。
今後の取り組み方針		
平成29年度は建屋の整備と生ごみ処理機を導入する。平成30年4月1日より稼働するため、生ごみ処理体制の確立を行い、可燃ごみの削減と堆肥による村内環境美化活動を推進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,674</td><td>1,674</td><td>1,339</td><td>335</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,674	1,674	1,339	335	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,674	1,674	1,339	335	0										
栗国村 1,674千円 実施設計委託料 1,674千円 上城技術情報 (株) 1,674千円 栗国村環境衛生処理施設 実施設計委託業務														
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。 ・執行率等から見て適正な規模だと認識している。 ・費目、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												